

分子病理疫学講演会

※講演は、日本語です。
医学セミナーを兼ねています。

統合的Pathobiology-Population 科学 の展望

(+仕事の充実とキャリア発展のヒント)

日時：2026年2月9日（月）17:00～18:30

会場：筑波大学 臨床講義室D

荻野 周史 先生 MD, PhD, MS

ハーバード大学医学部／ブリガム・アンド・ウイメンズ病院
病理学教授 兼 分子病理疫学部門長
ハーバード T.H. Chan 公衆衛生学大学院 疫学教授
東京科学大学グローバルフェロー

荻野先生は、疫学と腫瘍分子情報を統合する
Molecular Pathological Epidemiology (MPE) の創
始者であり、PIK3CA 変異陽性大腸がん患者でアス
ピリンが顕著な生存改善を示すことを報告するなど、
治療効果やリスク因子を腫瘍分子サブタイプ別に評
価する研究を先導してきました。また、腫瘍免疫や
マイクロバイオームも取り込んだ解析を進め、精密
医療と公衆衛生をつなぐ新たな研究パラダイムを構
築されております。

本セミナーでは、統合的科学（病理学、微生物学、免疫学、疫学、生物
情報学）の思わぬ効用について、初心者にもわかりやすく、ご講演いた
だきます。また、米国でのご経験から、キャリア発展についての示唆も
いただけます。

皆さん、奮ってご参加ください。



連絡先：筑波大学医学医療系社会健康医学（内線：6004）